

An aerial photograph of a vast, dense tropical rainforest. The forest is a vibrant green, with various tree species visible. In the background, rolling hills and mountains are shrouded in a light mist or haze, creating a sense of depth and atmosphere. The sky is overcast with soft, grey clouds.

Sustainability FactBook 2025

MTG

Contents

編集方針

- 基本的な考え方
- コミュニケーションマップ

トップメッセージ

サステナビリティ方針

サステナビリティ推進体制

マテリアリティ

- 特定プロセス
- マテリアリティ特定図
- マテリアリティ（重要課題）
- 取り組み内容と指標

各取り組み内容

- ①女性活躍、多様性の推進
- ②人材育成とキャリア開発の実践
- ③経営者意識を持つ人材の育成
- ④健康経営の取り組み
- ⑤製品の品質と安全性の確保
- ⑥人権の尊重
- ⑦健康で豊かな生活の実現
- ⑧地域社会の活性化と伝統文化の保護・継承
- ⑨地球環境の負荷軽減
- ⑩自然保護への取り組み
- ⑪水資源の維持と保全
- ⑫責任ある調達の実践
- ⑬コーポレート・ガバナンス、
コンプライアンス体制の強化
- ⑭部門採算をベースにした、経営方式の実践

APPENDIX

- SDGs目標とESG対応



株式会社MTGは、企業理念「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」の実現を目指し、環境・社会課題の解決に向けた企業活動に取り組んでいます。

ステークホルダーの皆さまに、当社のサステナビリティへの様々な取り組みについてご理解を深めていただくために、サステナビリティファクトブックにて、方針、体制、マテリアリティから具体的な取り組みまで、包括的にご紹介しています。

対象期間

2025年9月期（2024年10月1日～2025年9月）の実績を中心とし、2025年9月期以外の内容も一部掲載しています。

報告対象範囲

株式会社MTG単体、連結子会社、およびその他グループ会社の事例。

報告サイクル

年次発行として毎年発行。

財務情報

IR
Webサイト

<https://www.mtg.gr.jp/ir/>

決算短信

<https://www.mtg.gr.jp/ir/library/material.html>

有価証券報告書

<https://www.mtg.gr.jp/ir/library/securities.html>

財務・業績データ

<https://www.mtg.gr.jp/ir/finance/>

非財務情報

サステナビリティ
Webサイト

<https://www.mtg.gr.jp/sustainability/>

コーポレート
ガバナンス報告書

<https://www.mtg.gr.jp/ir/management/governance.html>

サステナビリティ
ファクトブック

トップメッセージ

企業理念「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」の実現を目指し、
環境・社会課題の解決に向けた企業活動に取り組むことで
持続可能な社会へ貢献していきます。

代表取締役社長
サステナビリティ委員長
松下 剛

当社グループは、企業理念「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」の実現を目指し、環境・社会課題の解決に向けた企業活動に積極的に取り組むことで持続可能な社会へ貢献していきます。

気候変動やそれに伴う自然災害、資源問題や地政学リスクの拡大など急激な環境変化、危機の発生が、日本や世界の経済に大きく影響を与えています。その一方で、持続可能な社会を目指す脱炭素化、人権問題への取り組みなど、企業の社会的な責任はより一層求められています。

当社グループのサステナビリティ活動は、企業理念を軸としたサステナビリティ基本方針に則り、国連の持続可能な開発目標（SDGs）等を参考に16のマテリアリティ（サステナビリティにおける重点課題）を特定、それぞれの重要課題へのアクションプラン（取り組み）を設定しています。

これら重要課題に対する取り組みは、私自身が委員長を務めるサステナビリティ委員会の中で、役員同席にて進捗確認を行い、その内容を取締役に報告しています。特に2025年9月期につきましては、環境課題に対する取り組みを強化いたしました。実効性のある体制とともに、サステナビリティに向けた取り組みを推進してまいります。

当社グループは、企業理念「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」のもと、事業ビジョンに掲げる“VITAL LIFE”世界中の人々の健康で美しく生き生きとした人生の実現に向けた事業活動を通して、持続可能な社会を目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



サステナビリティ方針

当社グループでは、企業理念として「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」を掲げております。この企業理念をサステナビリティに関する基本方針の柱とし、サステナビリティ活動を推進しております。

「一人ひかる」を従業員の素晴らしい人生を実現することを目的とし、従業員一人ひとりが夢を持ち、明るく前向きにひかり輝く素晴らしい人生を歩むことを、「皆ひかる」では、事業活動を通じた社会への貢献のため、MTGが提供する商品やサービスを通じ、世界中の人々の健康で美しく生き生きとした人生の実現を、そして「何もかもひかる」では、地球環境への配慮と保全に向けて、持続可能な地球環境への配慮はもちろん、人類社会の発展に貢献することを目指しております。

またコーポレートガバナンス、コンプライアンスやグループ経営に関する体制、その取り組みについては、持続的な成長を支える仕組みとして方針に含めております。

「一人ひかる」

従業員の
素晴らしい人生の実現

従業員一人ひとりが夢を持ち、明るく前向きにひかり輝く素晴らしい人生を歩むことを目指します。

「皆ひかる」

事業活動を通じた
社会への貢献

MTGが提供する商品やサービスを通じ、世界中の人々の健康で美しく生き生きとした人生の実現を目指します。

「何もかもひかる」

地球環境への
配慮と保全

持続可能な地球環境への配慮はもちろん、人類社会の発展に貢献することを目指します。

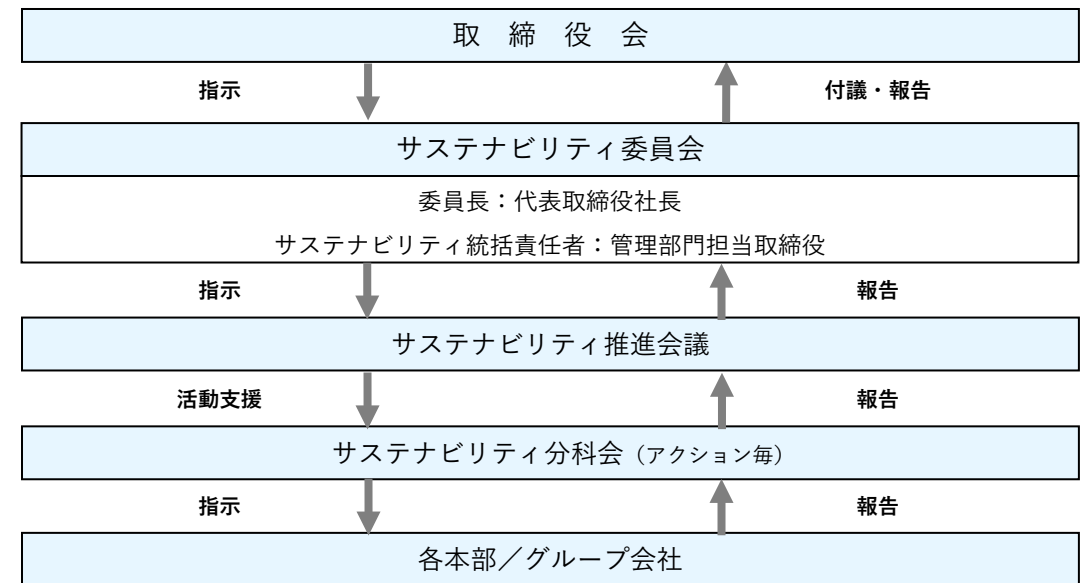
持続的な成長を支える仕組みの構築

サステナビリティ推進体制

サステナビリティを経営の中核に置き、中長期的な企業価値向上へグループ全体で横断的に推進するため、2024年8月に「サステナビリティ委員会」を設置いたしました。

取締役会がリスクや機会を含むサステナビリティに関する監督の責任を持ち、そのもとで代表取締役社長、管掌役員及び配下の各組織体が業務遂行を担っております。「サステナビリティ委員会」では、気候変動をはじめとした環境課題に関するグループ全体の対応方針・取り組みについて、目標に対する進捗管理や評価を行い、取締役会が監督およびモニタリング機能を果たし、対応の指示や戦略への反映を行っております。「サステナビリティ委員会」は、半期毎に年2回開催、取締役会へ年2回付議・報告しております。取締役会が監督及びモニタリング機能を十分に果たすために、取締役会で決議する方針、戦略に関する事前審議のほか、目標に対する進捗管理や評価、個別施策の審議などを行っております。2025年9月期につきましては、特に環境課題に対する取り組みを強化いたしました。

気候変動問題を含めたマテリアリティの解決に向けたアクションプランの実施状況の把握と評価を行い、サステナビリティの対応強化と情報開示の充実化にも努めてまいります。



マテリアリティの特定プロセス

様々な社会課題の中で、当社グループが対処すべき項目について、全社で議論を重ね、重点課題（マテリアリティ）を設定しております。

STEP1 社会課題の抽出

「SDGs」やグローバルリスク報告書等の社会動向が当社グループに与える影響を分析、さらに、株主・投資家様、お客様、お取引先様及び従業員をはじめとするステークホルダーの皆様との対応を通して、期待や要請などを様々な視点から検討、抽出いたしました。

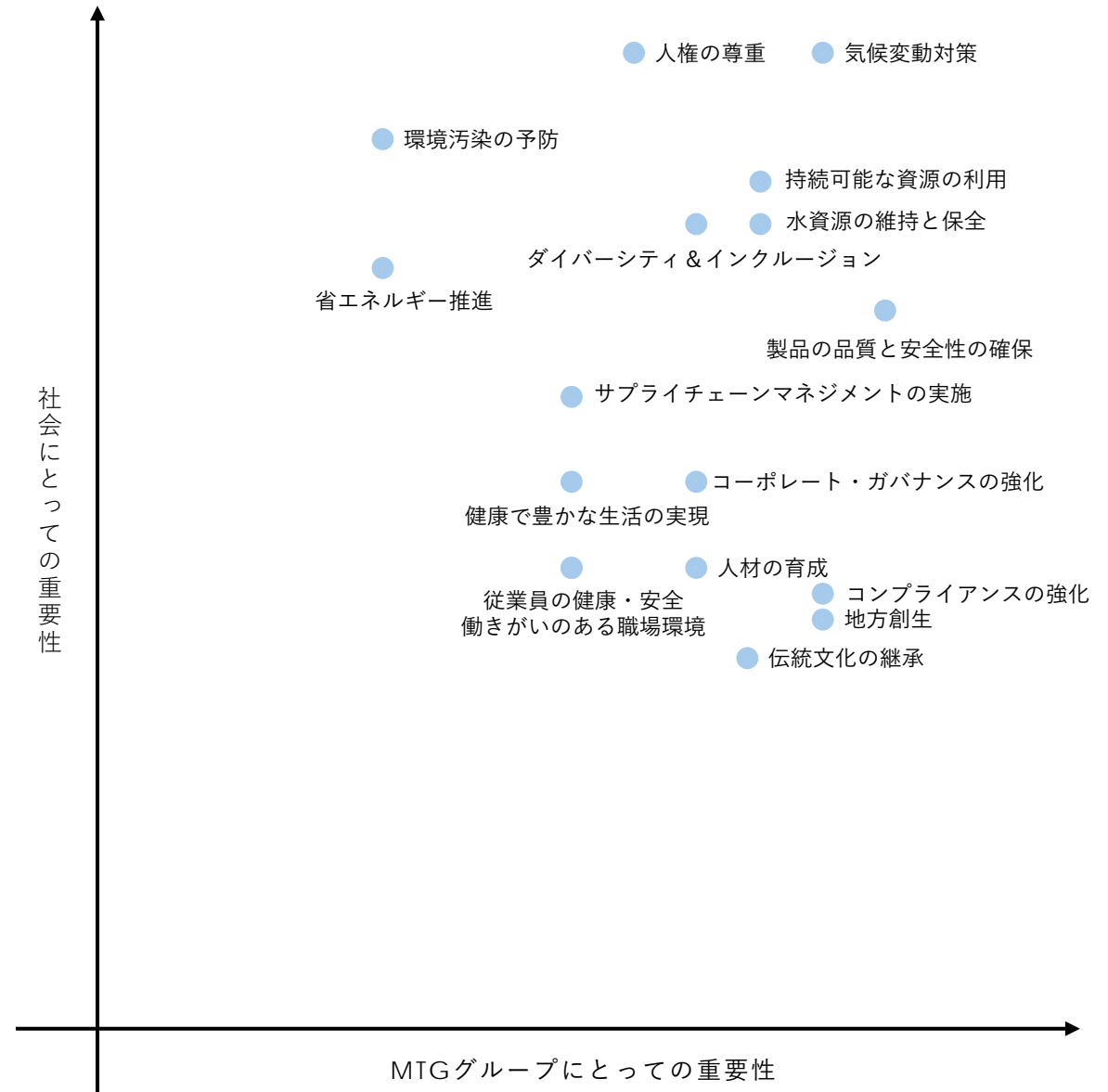
STEP2 推進部門及び担当役員による議論

サステナビリティ推進部門が社会にとっての影響と当社グループへの影響の観点から、各課題を評価・採点し、優先順位付けを実施、その内容について担当役員との議論を重ね、重点課題を整理いたしました。

STEP3 取締役会での決議

2024年8月度の取締役会にサステナビリティ推進部門より整理した重点課題を上程し、決議されました。そして、具体的なアクションプランを立案し、2025年3月に当社のサステナビリティ活動として開示いたしました。

マテリアリティ特定図



マテリアリティ（重要課題）

「一人ひかる」

従業員の素晴らしい人生の実現

- ・ダイバーシティ & インクルージョン
- ・人材の育成
- ・従業員の健康・安全、働きがいのある職場環境

「皆ひかる」

事業活動を通じた社会への貢献

- ・製品の品質と安全性の確保
- ・サプライチェーンマネジメントの実施
- ・健康で豊かな生活の実現
- ・人権の尊重
- ・伝統文化の継承
- ・地方創生

「何もかもひかる」

地球環境への配慮と保全

- ・気候変動対策
- ・環境汚染の予防
- ・省エネルギー推進
- ・持続可能な資源の利用
- ・水資源の維持と保全

持続的な成長を支える
仕組みの構築

- ・コーポレート・ガバナンスの強化
- ・コンプライアンスの強化



マテリアリティに関する取り組み内容と指標

マテリアリティ	アクションプラン	取り組み内容	指標
■ 「一人ひかる」 従業員の素晴らしい人生の実現			
<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ&インクルージョン 人材の育成 従業員の健康・安全、働きがいのある職場環境 	①女性活躍、多様性の推進	働きやすい制度の整備と活躍機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 男性育休取得率
	②人材育成とキャリア開発の実践	やりがいのある職場環境を整備	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者雇用比率
	③経営者意識を持つ人材の育成	人材育成とキャリア開発の実践	—
	④健康経営の取り組み	経営者意識を持つ人材の育成	—
		心と体の疾病予防・早期発見・早期治療サポート	<ul style="list-style-type: none"> 定期健診再検査対象者数 ストレスチェック
■ 「皆ひかる」 事業活動を通じた社会への貢献			
<ul style="list-style-type: none"> 製品の品質と安全性の確保 サプライチェーンマネジメントの実施 健康で豊かな生活の実現 人権の尊重 伝統文化の継承 地方創生 	⑤製品の品質と安全性の確保	品質向上・製品の安全性確保	—
	⑥人権の尊重	RSPOパーム油の利用	<ul style="list-style-type: none"> RSPO比率
	⑦健康で豊かな生活の実現	地域・社会への健康向上支援	—
	⑧地域社会の活性化と伝統文化の保護・継承	五島市、名古屋市熱田区を中心とする地域活性化	—
寄付活動の実施		—	
		伝統工芸技術の活用	—
■ 「何もかもひかる」 地球環境への配慮と保全			
<ul style="list-style-type: none"> 気候変動対策 環境汚染の予防 省エネルギー推進 持続可能な資源の利用 水資源の維持と保全 	⑨地球環境の負荷軽減	温室効果ガス排出削減（Scope1-3）	<ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素排出量
	⑩自然保護への取り組み	自社農園における椿の植栽による自然保護	<ul style="list-style-type: none"> 植栽本数
	⑪水資源の維持と保全	ファインバブルによる排水量削減	—
	⑫責任ある調達推進	RSPOパーム油の利用	<ul style="list-style-type: none"> RSPO比率
■ 持続的な成長を支える仕組みの構築			
<ul style="list-style-type: none"> コーポレート・ガバナンスの強化 コンプライアンスの強化 	⑬コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス体制の強化	コーポレートガバナンスコードへの対応	—
	⑭部門採算をベースにした、経営方式の実践	グループ（ユニット）経営	—



一人ひかる

従業員の素晴らしい人生の実現

1. 女性活躍、多様性の推進
2. 人材育成とキャリア開発の実践
3. 経営者意識を持つ人材の育成
4. 健康経営の取り組み

1. 女性活躍、多様性の推進

女性の活躍推進 1/2

✓ 働きやすい制度の整備と活躍機会の創出

KPI	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2027年目標
女性管理職比率	10.9%	11.7%	13.6%	15%
男性育休取得率	15.4%	48.5%	45.2%	100%

当社グループの主要な事業を営む(株)MTG、(株)MTGプロフェッショナル及び(株)MTG FORMAVITAの3社における従業員の55.6%が女性であることから、「女性の活躍推進」はグループ全体の成長に繋がる重要なテーマと位置づけ、男女問わず働きやすい制度の整備と活躍機会の創出に取り組んでおります。

■ イベントや交流会等を通じた情報共有機会の創出

「自分らしく輝いて働き続けるためのヒントを得る」を目的に、社内外の交流会、女性管理職のトークイベントや男性管理職とのトークセッションを開催しました。延べ254名が参加し「勇気をもらえた」「視野が広がった」等の声が寄せられました。この取組みは他企業様からも関心を寄せられ、協業のご相談をいただいたことで、活動の幅が広がりました。また、ロールモデルの有無に関する調査では、取組み前後で肯定回答が32%上昇し、このような機会がキャリア形成のヒントを提供できたことを調査結果からも確認することができました。今後はFemtechも含めた女性の健康課題のテーマも取り扱う予定をしております。



女性の活躍推進 2/2

✓ 働きやすい制度の整備と活躍機会の創出

■ 女性活躍推進に関する組織調査の実施

女性活躍に関する現状を把握するために、キャリアのロールモデルの有無、管理職意欲調査や現女性管理職へのアンケート、女性活躍推進の全社進捗調査等、多角的な観点からの調査を行いました。女性活躍推進における課題や強みを具体化し、今後の改善施策の基盤となる情報を得ることができました。

■ 管理職を目指す女性社員への支援構築

課長候補となる女性社員の昇進を支援する研修を構想しております。研修内容やその他の支援を具体的に検討するため、女性グループリーダーおよび現管理職を対象にした昇進に対する意識調査を2026年9月期に実施することを決定し、現在準備を進めております。

■ 男性育休取得の周知と意識醸成への準備

育休取得経験のある男性社員へのヒアリングや外部調査を活用し、育休取得の実態を把握しました。今後は積極的な育休の案内や休職者への社内近況の配信を実施する等、安心して育休が取得できる環境づくりに、より一層努めてまいります。



外国人・障がい者雇用

✓ やりがいのある職場環境を整備

■ 障がい者雇用の推進

屋内に設置した植物装置付きの栽培室内で障がいのある社員が、ハーブを栽培し、収穫した作物はハーブティーに二次加工します。川越ファームのハーブティーを、本社・研究開発センターと、東京支社の給湯箇所にて、社員が自由に楽しめるよう、社内の福利厚生として無料で提供しています。外注している業務の内製化や、専門業務チームの編成を進めることで、更にやりがいのある職場環境を実現し、障がい者雇用比率を2027年には2.7%まで引き上げることを目指します。※(株)MTGのみ

■ 事業と企業の成長に資する外国籍従業員支援のしくみ

外国籍の社員については、当社グループ全体で8か国、直雇用社員の外国籍比率は5.0%を占めております。外国籍従業員の支援を通じて多様性推進を行っていくため、当該外国籍従業員に対する調査を実施し、以下支援の検討・推進を強化していくこととしました。

- ① ビザ取得に関する支援など、基本的な生活基盤を築くサポートを実施する
- ② 職場における交流を通じた異文化コミュニケーションを促進する

上記取組みを進め、今後も引き続き多様性推進に努めてまいります。



人材育成とキャリア開発の実践

✓ 従業員の自律的な能力開発を支援

■ 階層別・年次別研修の実施

新卒および中途入社者の早期定着と活躍を推進するための入社時研修や職場を巻き込んだオンボーディング研修に加え、年次別研修、管理監督者・グループリーダー向けのマネジメント研修等の学びの場を提供し、従業員一人ひとりが挑戦し続ける環境づくりを実施しております。直近では、マネジメントに関する共通言語の浸透を目的に、2024年12月、2025年3月には管理監督者（課長）向け、マネジメント研修を実施しました。

■ 光フィロソフィ共育会の実施

従業員一人ひとりの物心両面の幸せや健全な企業風土の実現を目指し、2025年5月に第16回となる光フィロソフィ共育会を開催いたしました。当社グループが大切にしている価値観や企業文化を共有し合う機会を提供しています。

■ 未来応援キャリアカウンセリングの実施

「未来応援キャリアカウンセリング」は、キャリアコンサルタント資格を持つ社内カウンセラーに、キャリアや働き方について気軽に相談できる制度です。

2025年9月期においても、一人ひとりの声に丁寧に耳を傾けながら、人生や仕事に関する悩みや迷いに寄り添い、共に考える機会を創出いたしました。



経営者意識を持つ人材の育成

✓ 経営情報に触れる機会を通じ、全員経営につなげる

■ グループ経営方式の実践

当社グループでは、組織を細かな経営ユニットに分け、各ユニットの損益を明確にすることで、従業員が自組織の採算を向上させるための改善意識・行動を促す「グループ経営方式」をとっております。各ユニットで実施する採算会議に従業員が参加する等、経営情報に触れるだけでなく、意見や提案ができる環境づくりに努めております。

■ 経営方針発表会の実施

経営者のメッセージや経営方針について、従業員一人ひとりが自分事と捉えられるよう、全従業員が参画する全社経営方針発表会を年に2回実施しております。なお、全社方針を受けて、本部ごとの方針発表会を四半期に一度実施しており、経営者やリーダーの方針に触れる機会となっております。

■ リーダー層向け勉強会の実施

課長以上の全リーダーを対象に、真の経営者になるための勉強会を定期的実施しております。社長自らが講師となってリーダーに直接指導し、組織・事業の戦略・ビジョンの描き方、メンバーとの信頼関係の築き方等を題材に経営力を高める場としております。また、年に一度、事業・組織の運営方針を各リーダーが発表する「決起大会」も実施しております。



心と体の疾病予防・早期発見・早期治療サポート

✓ 従業員の心と身体の疾病を予防

KPI	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2027年目標
定期健康診断 再検査対象 ^(※1)	13.4%	13.6%	14.9%	11.4%
ストレスチェック 総合健康リスク	76	75	75	80以下

※(株)MTGのみ

■ 健康診断再検査の推進

2025年9月期は12月～2月に定期健康診断を実施し、医療機関からの結果を基に、順次、受診勧奨および保健指導を行いました。その結果、2025年9月期の再検査対象者うち、39%に数値の改善が見られました。保健指導の効果が認められる一方で、66%が新たに再検査対象となり、この対策として、安全衛生委員会を通じて健康情報の提供を行うことで健康に対するリテラシーを高め、セルフケアを推進しております。

■ メンタルヘルス支援の強化（ストレスチェックの活用）

2025年9月期は8月にストレスチェックを実施し、前年水準を維持する結果となりました。また、高ストレス者に対しては、産業医によるセルフケアの指導を実施しております。今後も上記取り組みを実施し、従業員の心と身体の疾病予防に努めてまいります。





皆ひかる

従業員の素晴らしい人生の実現

5. 製品の品質と安全性の確保
6. 人材育成とキャリア開発の実践
7. 経営者意識を持つ人材の育成
8. 健康経営の取り組み

新本社・研究開発センター建設による地域活性化

✓ ウェルビーイングにあふれる魅力的な熱田を全国、そして世界へと発信

■ 熱田外苑プロジェクトへの参画

当社は新本社の建設を通じて、熱田神宮と呼応しながら地域に根差す人々と地域の企業など、産官学民芸が共創し、歴史・文化・伝統が根付く熱田神宮周辺の“新しい歴史”をみなでつくる「熱田外苑プロジェクト（プロジェクト委員会：あつた宮宿会、名古屋鉄道株式会社、株式会社MTG）」へ参画しております。2025年7月14日には本プロジェクトの発表会見が行われプロジェクトが本格的に始動をいたしました。熱田に新たな人の巡りを生み出すことで、活気に満ちたにぎわいあふれるエリアを創出し、ウェルビーイングにあふれる魅力的な熱田を全国、そして世界へと発信してまいります。

■ 新本社・研究開発センターの建設

当社が2027年に移転を予定している熱田の新本社は、当社の事業ビジョンである「VITAL LIFE = 健康で美しく生き生きとした人生」を体現する、地域に開かれた複合施設として建設されます。人々の健康な暮らしに貢献すると共に、熱田外苑プロジェクトを通じて、地域の皆様とのつながりをより一層深め、熱田を訪れる人々が今の幸せを感じ、明日への活力が湧いてくる、その様な場所づくりを目指してまいります。



品質向上と製品安全の確保

✓ 品質向上と製品安全の確保に向けた活動を実践

当社では、開発品質及び製品安全を確保するために、開発、品質保証含め関係部署で、過去ノウハウやリスク評価の結果を反映し、企画構想、量産設計、設計検証、製造準備、量産の各ステップごとにデザインレビュー、評価検証を実施しております。

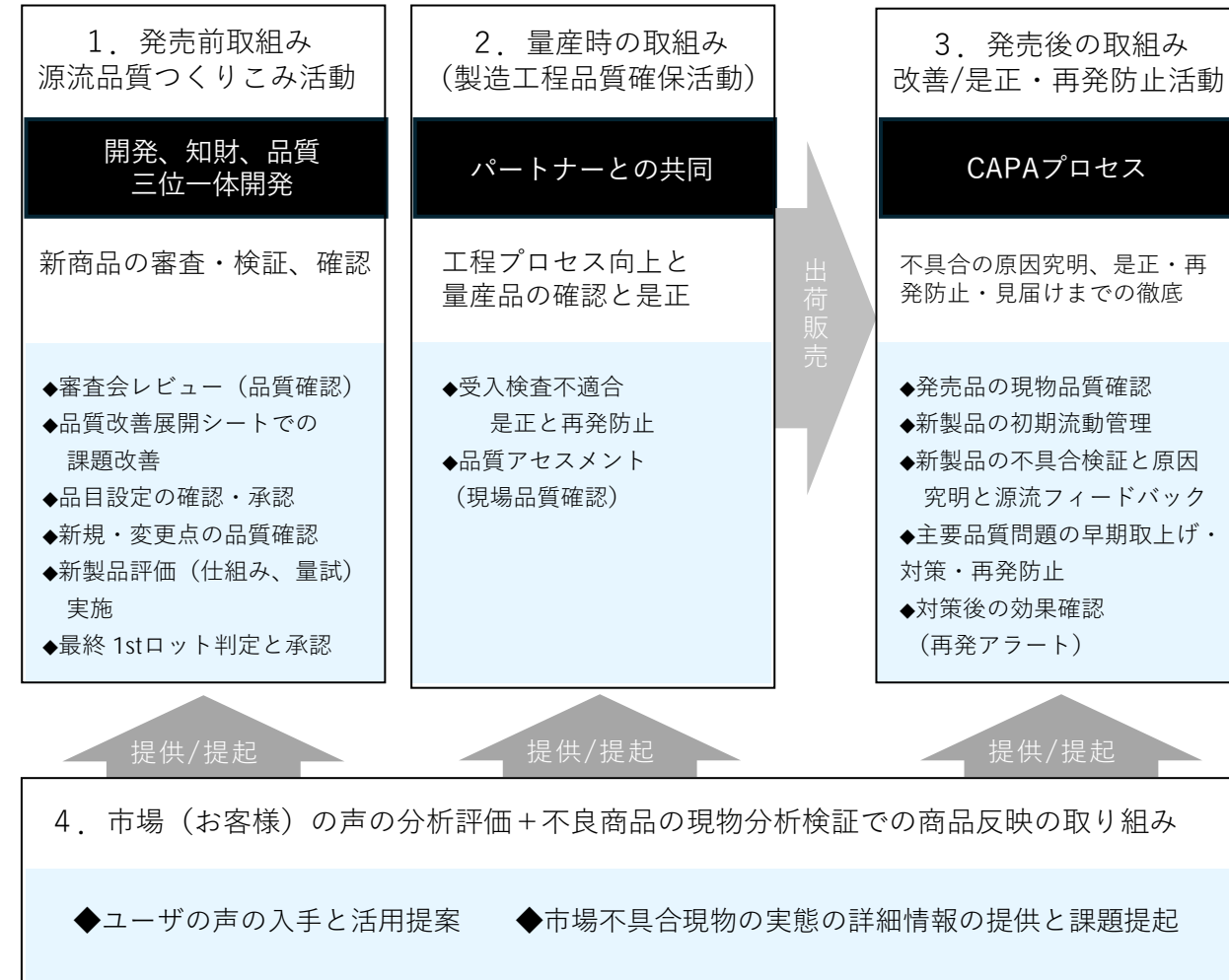
製造品質を確保するために、製造パートナーの現場巡回を行い、課題の抽出及び品質管理レベルの底上げを実施、また、是正・再発防止のために、不良・クレーム情報を収集分析し、真因の特定及び再発防止を徹底して行っております。

また、お問い合わせやアンケートにより頂いたお客様の声を、開発部門及び開発製造パートナーへフィードバックすることで、市場の声を商品に反映しております。

2025年9月期は品質保証体制の変更を含めた機能強化を図り、上記活動の実践を徹底してまいりました。

今後もより一層の品質の向上及び安全性の確保に努めてまいります。

品質向上フレームワーク



6. 人権の尊重 / 12. 責任ある調達

人権配慮資源の使用 / 責任ある調達の推進

✓ RSPOの活動支援、人権配慮資源の使用及び責任ある調達を推進

化粧品などの原料として大切な役割を果たす「界面活性剤」という成分は、アブラヤシからとれるパーム油から作られます。それに伴い、アブラヤシ農場の開発による熱帯雨林の伐採や人権問題が課題となっており、持続可能な責任ある調達、人権への配慮が求められています。その中で貴重な熱帯雨林の破壊がこれ以上進まないようにつくられたのが、RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議：Roundtable on Sustainable Palm Oil）と呼ばれる国際組織です。

■ RSPOのSupply Chain Associate Member及びGreen Palm会員への登録を実施

RSPOのSupply Chain Associate Member（準会員クラス：年間使用量が500トン以下）及びGreen Palm会員への登録を現在進めております。登録完了後は、当社使用相当分についてブックアンドクレーム方式※での認証油調達を進めてまいります。

■ パーム油 ブックアンドクレーム方式での調達に向けた準備

ヘアケアアイテムの売上が急増するとともに、発売するアイテム数も増加しております。それに伴い、開発中のアイテムも含め、改めて原料の由来を明確にするとともに、パーム油の使用量の把握を進めています。上記活動を通して、2027年RSPOパーム油の使用割合を、現状の0%から40%へ引き上げることで、環境及び人権にも配慮した資源の使用、責任ある調達を推進してまいります。

※ブックアンドクレーム方式：RSPOにより認証された生産者が生産した認証油に、認証クレジット（証券）を発行。その認証クレジットを購入することで、認証パーム油の生産者を支援する仕組み。



7. 健康で豊かな生活の実現

地域・社会への健康向上支援

✓ 大学・企業・自治体と協力、地域社会の健康向上を支援

■ 能登半島被災地（珠洲市、輪島市）へFoot Fit2の寄付及び健康セミナーの実施

2024年1月に発生した能登半島地震で被災された輪島市にFoot Fit 2を200台寄付いたしました。輪島市では地震に加え、記録的な大雨による大きな被害も出ており、避難生活が長期化への懸念より、被災者の健康をサポートできるよう寄付を行いました。商品を安全にお使いいただくために、使い方がガイドの配布と、オンライン説明会を複数回実施いたしました。また、珠洲市にはFoot Fit 3 Heat 10台とHealth Grip 5点を寄付し、地域のサロン活動でご使用いただきました。

■ 東伊豆町でFoot Fitを活用した健康増進&コミュニティ活性化施策実施支援

高齢化の進む東伊豆町では地域住民の健康増進、地域コミュニティの活性化のための施策を検討されており、その中でFoot Fitに注目いただき、相談を重ねた結果、健康増進として日々ご家庭でFoot Fitを使用し、コミュニティ活性化として週1回集合しての「すわトレ」実施という施策を6月-9月で実施いただきました。

当社は住民が使用するFoot Fitと「すわトレ」DVDを貸与する形で支援するとともに、2025年9月28日に東伊豆町が開催した健康イベントにFoot Fitの体験ブースを出展し、下肢を鍛えることの重要性についてFoot Fitの体感をいただきながら啓蒙活動を実施いたしました。

■ 横浜消防局主催イベントに参加、啓蒙活動を実施

横浜市消防局では救急出動要請の増加が課題で、出動要請の56.2%が高齢者の搬送であり、要請理由は転倒が多くなってまいりました。そこで、横浜市消防局では高齢者の転倒予防に関する啓蒙活動を実施しており、その一つとして下肢筋力を鍛えることのできるFoot Fit3を紹介したいとの相談をいただき、2025年の出初式でブース出展をいたしました。会場では来場者の多くにFoot Fit3を体感いただくことで下肢筋力を鍛える重要性を実感いただくことができました。



寄付活動の実施

✓ 世界中の人々がよりVITALな社会生活を営むことへの支援へ寄与

■ 石川県輪島市への寄付実施

寄付先：石川県輪島市

寄付品：SIXPAD EMS製品 200台

実施日：2024年12月

用途：被災地の方々が一日でも早く心身ともに健康に回復することへの助力となることを願い、トレーニングのサポートにご利用いただけるEMS製品を寄付いたしました。寄付した製品は輪島市を通じて15か所の避難所及び市内の各介護施設へ設置しております。また少しでも製品をご活用いただけるよう、各施設の職員の方々へオンラインで製品の使用方法の説明会を実施いたしました。

■ 石川県珠洲市への寄付実施

寄付先：石川県珠洲市社会福祉協議会

寄付品：SIXPAD EMS製品 10台、トレーニング製品 5台 / ReFa ドライヤー製品 3台

実施日：2024年12月

用途：珠洲市社会福祉協議会が、被災者の孤独・孤立を防ぎ、住民一人ひとりの心のケアとして行うサロン活動にSIXPAD商品を活用いただき、参加者の健康維持のみならずサロン活動への参加の呼びかけやコミュニケーションの促進を図り、被災地の心のケア活動を支援いたしました。

今後も、被災地、地域を中心とした社会福祉施設など寄付先の方々のニーズに応じた自社製品の寄付活動を通じて、事業ビジョン“VITAL LIFE”～世界中の人々の健康で美しく生き生きとした人生の実現～を支える支援を続けてまいります。



五島の椿事業による地域活性化

✓ 五島の地域資源である椿を活用した産業を育成

グループ会社「五島の椿株式会社」においては、長崎県五島列島に古来、自生する五島椿を活用した事業展開を行っています。花や種といった、年に一度の収穫時期に限られたものだけでなく、葉、枝、果皮、そして椿の花から取り出した「椿酵母」を使用した製品開発を行っています。また、五島列島の歴史、文化に至るまで、あらゆる側面から調査・研究を実施し、知られざる力を発見することで、新たな事業創発を目指しています。

■ 椿農園の活用による地域活性の取組、啓蒙活動と発表

農園の生物多様性を維持する活動を実施すべく、アドバイザーによる勉強会を実施しました。全国放送のテレビ番組で取材・放送していただき、全国に農園での持続可能な取り組みを周知しました。

■ 地域資源の椿油を活用した新商品の開発

椿を活用した、自然由来の原料及び商品開発を継続して行いました。加えて、ギフト仕様の新たなパッケージ商品を発売するなど、商品のラインナップの拡充を図りました。

■ 地域シルバー人材センターとの連携による雇用の場創出

シルバー人材センターを通じて、農園の収穫作業や管理業務を請け負っていただき、高齢者が生き生きと働ける仕事づくりに取り組みました。

上記活動を通し、五島の椿事業による地域活性化をロールモデルとして、今後日本の様々な地方産業の可能性を切り拓いてまいります。



伝統工芸技術の活用

✓ 「ブランド×伝統技術」のコラボレーションの推進

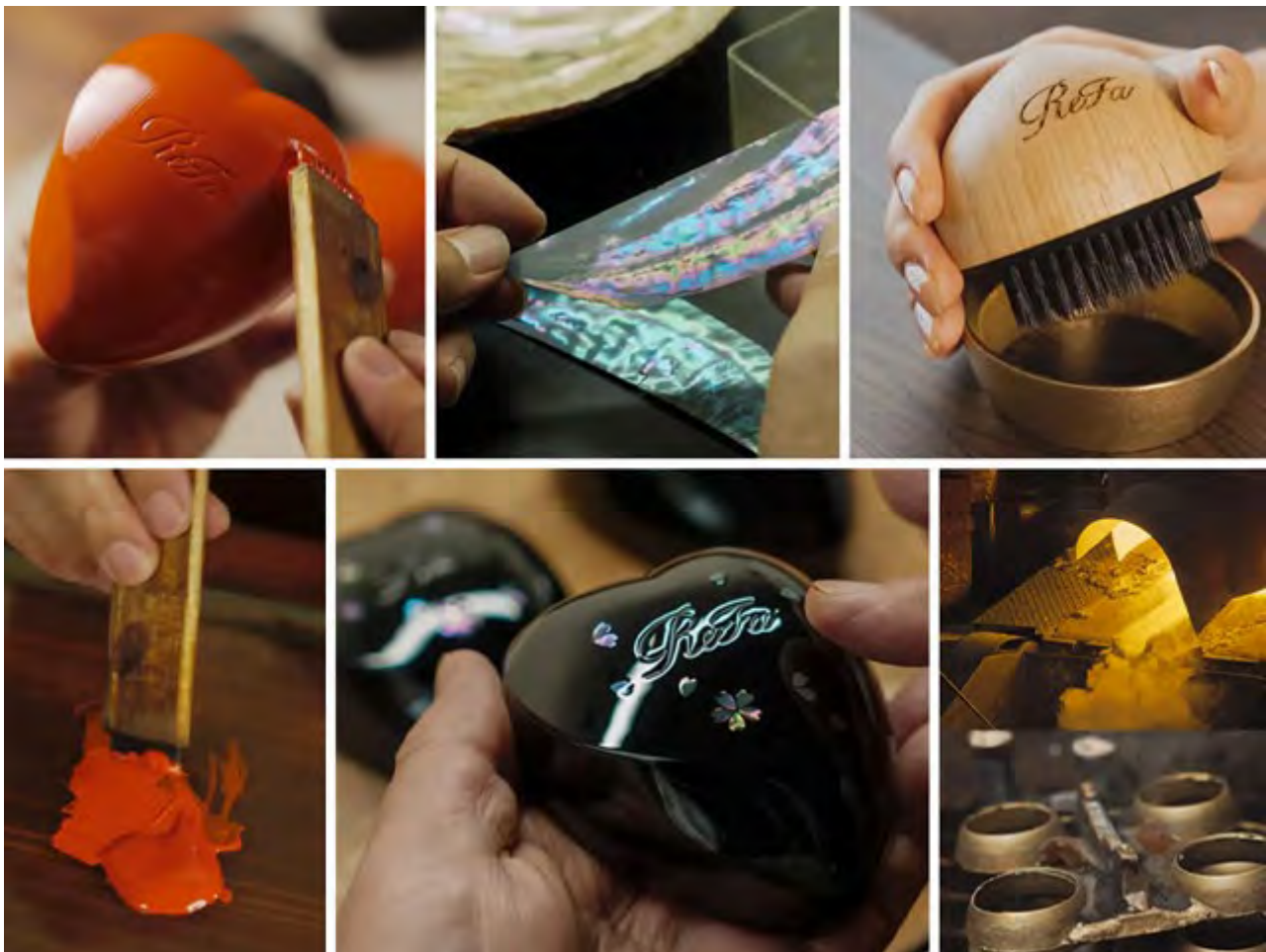
日本が誇る素晴らしい伝統技術と伝統産業を活用した商品のデザインや素材を取り入れ、国内外に向けて発信していきます。 伝統工芸技術の価値を紡ぎ続け、ブランドとの融合による新たな顧客層の開拓にもつなげてまいります。

伝統技術とブランドのコラボレーションとして、京都の伝統産業を代表とする【漆塗り】の技術を取り入れた「ReFa HEART KYOYO」を商品化しました。本商品は、京都市ふるさと納税返礼品に採用され、自社オンラインショップなどで販売されています。また、地方独立行政法人京都市産業技術研究所の協力を得て、漆塗りの取り組み先パートナーとのマッチングが実現しました。

また、100%天然猪毛ブラシ「ReFa BRISTLE OAK」では、ブラシのスタンドに真鍮を採用し、富山県高岡市の伝統工芸技術の一つでもある高岡銅器の【鑄造技術】を用いて製作しました。そしてブラシのハンドルは天然木を用い、木の特性を生かした切削や貼り合わせなどの【木工技術】で加工製造された商品を開発しました。本商品も自社オンラインショップや免税店などで販売しています。

また、2025年11月にオープンしたReFa GINZAにおいても、職人技術とコラボレーションした上記3種ブラシの販売を開始しております。

伝統工芸技術を活かした日本独自の“美”の価値を、引き続き発信し続けてまいります。





何もかもひかる

従業員の素晴らしい人生の実現

- 9. 地球環境の負荷軽減
- 10. 自然保護への取り組み
- 11. 水資源の維持と保全

MTGグループは、企業理念である「一人ひかる、皆ひかる、何もかもひかる」に基づき、世界中の人々の健康で美しく生き生きとした人生の実現と、人類社会の発展に貢献するため、環境課題へ積極的に取り組み、地球環境への配慮と保全に努めてまいります。

以下指針においては、パリ協定の枠組みに基づいた目標設定や取り組みを行い、適宜評価と改善を継続することで、実現を目指します。

1. 持続可能な社会の実現

私たちは、環境マネジメントシステムの運用を推進し、地球環境への配慮と保全に努め、持続可能な社会の実現を目指します。

2. 地球環境の負荷軽減

カーボンニュートラルの早期実現に向け、社内外のステークホルダーと連携・協働し、地球環境の負荷軽減に取り組んでいきます。

3. 環境に配慮した商品・サービスの提供

環境に配慮した商品とサービスを、世の中の人々へ提供することに努めます。

4. 自然との共生

生物多様性や環境に配慮した事業活動を行っていきます。

5. 法令遵守

環境関連における法令を遵守し、事業活動を行っていきます。

6. 積極的な情報開示

環境に関する情報を積極的に開示し、ステークホルダーとのコミュニケーションを通して、信頼関係の構築と、環境課題の解決に向けて努めていきます。



単位：t-CO2

温室効果ガスの排出削減（Scope1-3）

✓ 温室効果ガス（Scope1及び2）の積極的削減への取り組み

持続可能な社会の実現に向けて、当社グループにおいても気候変動関連の課題解決は最重要課題と考えております。気候関連リスク・機会を管理するための目標についてはSBTi（Science Based Targets）を参考に、中長期的な温室効果ガス排出量削減を目指して、温室効果ガス（Scope1及び2）排出量削減目標を設定いたしました。温室効果ガス（Scope1及び2）は、2023年度を基準年とし、2030年度までに42%削減を目指しており、Scope3については、SBT基準に準拠した算定及び目標設定を進めております。また、2050年にカーボンニュートラルを実現できるよう、社内外のステークホルダーと連携・協働し、地球環境の負荷軽減に取り組んでまいります。

■ Scope1,2の排出量削減対応

グループ会社「五島の椿株式会社」においては、島の浮体式洋上風力発電によるクリーンエネルギーを使用することにより、二酸化炭素の排出量削減（オフセット）に積極的に貢献しております。またMTGグループ拠点において、本社・研究開発センター、名古屋営業本部での、再生可能エネルギー由来電力の使用も開始しております。

■ Scope 3の算定実施

製品の原材料調達から製造、販売、消費、廃棄に至るまでの過程において排出される温室効果ガスの量（サプライチェーン排出量）を指すScope3の算定を実施いたしました。排出量基準年である2023年におけるScope3排出量は166,887 t-CO2eとなり、温室効果ガス排出量が最も多いカテゴリーは「購入した製品・サービス（カテゴリー1）」の64,064 t-CO2eで、全体の約39%を占めております。今後SBTi基準に準拠した目標設定を進め、削減に向けてはサプライヤー含む社内外のステークホルダーとの連携・協働が不可欠となりますので、排出量削減の対応検討を進めてまいります。

		2023年 9月期 基準値	2024年 9月期 実績値
Scope1	直接排出	185	194
Scope2	エネルギー起源の間接排出（マーケット基準）	997	1,225
	エネルギー起源の間接排出（ロケーション基準）	937	1,035
Scope3	カテゴリー1：購入した製品・サービス	64,064	83,659
	カテゴリー2：資本財	60,879	68,821
	カテゴリー3：その他燃料	193	237
	カテゴリー4：輸送（上流）	7,021	8,404
	カテゴリー5：事業廃棄物	388	540
	カテゴリー6：従業員の出張	1,460	1,912
	カテゴリー7：従業員の通勤	654	699
	カテゴリー8：リース資産（上流）	-	-
	カテゴリー9：輸送（下流）	-	-
	カテゴリー10：商品の加工	-	-
	カテゴリー11：商品の使用	30,476	54,494
	カテゴリー12：商品の破棄	570	789
	カテゴリー13：リース資産	-	-
	カテゴリー14：フランチャイズ	-	-
	カテゴリー15：投資	-	-
	カテゴリー16：その他	-	-
	Scope3 合計	165,705	219,556
総排出量		166,887	220,975

※上記排出量の対象範囲は、当社連結グループとしております。

※カテゴリー8,10,13,14,15,16：該当する活動なし

※カテゴリー9：今後算定検討

※SBTi（Science Based Targets Initiative）認定の取得に伴い、経過年の算定値を一部再計算しております。



五島の椿の保全

✓ 自社農園における椿の植栽による自然保護

グループ会社「五島の椿株式会社」では、長崎県五島列島に4ヘクタールの農園を所有しており、1万本の椿を管理しています。その椿由来のスキンケア商品や食品の企画製造販売に取り組むことで、島の大切な資源である椿の維持活動に取り組んでいます。

■ 椿農園の整備による観光農園化準備

農園の雑草やツタ類の除去を行い、椿がより生育しやすい環境整備に注力しました。結果として、景観美化にも繋がり、農園の観光農園化につながるアクションとなりました。今後、農園体験ツアーを企画し、より多くの方に自社農園でのサステナブルな取り組みを発信してまいります。

■ 椿の苗木の頒布による椿植栽の振興

全国特定の商品をご購入いただいた際の特典として、椿の苗木をプレゼントする企画を実施しました。結果、全国のお客様に椿の苗を115本お送りし、全国での椿植栽を推進しています。椿の植栽及び配布本数の総数は519本となりました。

■ 椿農園における生物多様性についての調査研究

椿農園の生物多様性による価値づけを行い、国が推奨する「30by30（サーティ・バイ・サーティ）目標」を実現すべく社内勉強会を継続開催しました。新たに農園のインスタアカウントを開設し、農園の魅力発信を開始しました。



ファインバブルによる水資源の保全、排水量削減

✓ 社会の水資源の保全とCO2の排出量を削減

■ ファインバブルシャワーの節水およびCO2削減効果

2024年9月期を終え、ファインバブルシャワーの累計販売数は約260万本となりました。ファインバブルシャワーは1台あたり、年間約17,581ℓの水量を削減※1できることから、累計販売本数が全て世の中で使用されていると仮定すると、1年間で約4,600万tの節水ができますことになります。これは日本国民1億2400万人が約1日生活できる水量※2となります。また、同節水量を給湯に必要なガス（CO2）量に換算した場合、ファインバブルシャワー1台あたり約50kgのCO2を削減できることから、累計販売本数では約13万tの削減できると考えられます。

■ ファインバブル技術による、各家庭での水質保全

2024年12月に発売したReFa ULTRA FINE BUBBLE SUIGENという商品は、各家庭の水道管に取り付けることで家中すべての蛇口からウルトラファインバブルを含んだ水が出てくるといった商品です。ウルトラファインバブルを含んだ水を使用することによって、キッチンや洗面での洗浄剤の使用量を削減できたり、使用する水の量を減らせたりすることが期待できます。この商品を普及していくことにより、各家庭での水資源の保全と排水量の削減に貢献していきます。

今後もファインバブルの普及を通じて、水資源の保全とCO2排出量削減に努め、人々のよりいきいきとした人生の実現を目指してまいります。

※1 ReFa FINE BUBBLE U：ミスト30%、ピュアストレート10%、ストレート50%、ポイントジェット10%として計算 ※2 1世帯における節水量×累積販売台数（1人あたりのシャワー使用時間6分、シャワー流量12ℓ/分、国内平均世帯人数2.23人、ファインバブルUの1回のシャワーでの節水量で計算）※3 ファインバブルの性能についてはReFa公式ブランドサイトを参照ください。※4 シャワーヘッド260万本による年間の節水量：約4,600万t、国民1人あたりの1日の水使用量：286ℓ、国土交通省 2019年 日本国民の人口：約1.24億人（2025年10月14日時点 google調べ）





持続的な成長を支える

仕組みの構築

コンプライアンス体制の強化

✓ コンプライアンスを尊重する風土の醸成とコンプライアンス活動

当社は、あらゆるステークホルダーからの期待や要請に応え信頼を得続けるため、法令遵守は当然のこと、社会規範的な観点からもコンプライアンスを捉えております。

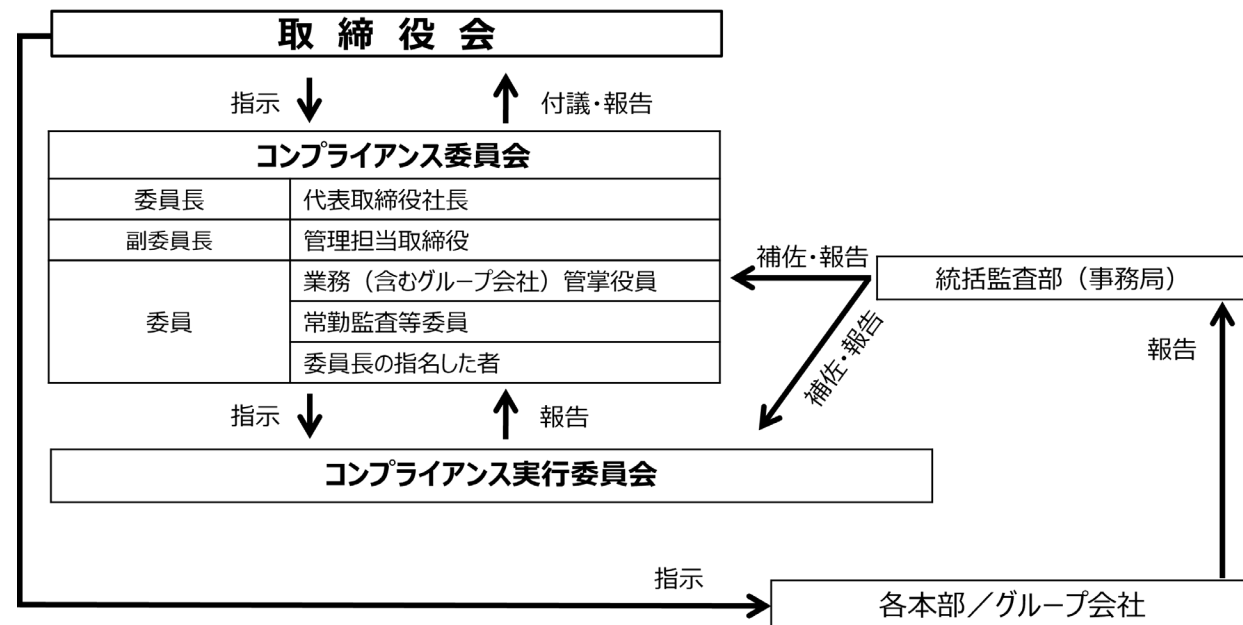
当社では、法令や社規社則及び社会規範を遵守した公正で透明性のある企業活動を行うため、「コンプライアンス憲章」を制定し、憲章を印刷したCompliance Cardを全従業員に配布し、コンプライアンスを尊重する風土の醸成と、コンプライアンス研修をはじめとした各種活動を推進しております。

■ コンプライアンスを尊重する風土の醸成

当社のコンプライアンス研修は、グループ共通の階層別研修及び部門別の専門研修をそれぞれ毎年1回実施しております。また、全従業員を対象にしたコンプライアンスアンケートも毎年1回実施し違反やハラスメントの傾向を把握するよう努めております。その他、代表取締役社長をはじめ経営層からコンプライアンスメッセージを発信する機会を設定しております。

■ コンプライアンス活動の推進

当社は、リスクマネジメント委員会とコンプライアンス委員会を運営し、コンプライアンス活動の強化を図っております。年度活動計画及び活動実績は定期的に取り締役会へ報告しております。また、グループ会社を含む内部通報制度（Speak-Up制度）及びパートナー企業向けの通報制度を運用しており、それぞれ受付窓口を設置し運用しております。



グループ（ユニット）経営

✓ 採算管理をベースに、持続的な企業価値の創造を推進

コーポレートガバナンスの目的は、持続可能な企業価値の創造にあります。そのためには内部活動としての経営管理が重要と考えられます。

当社における経営管理は、単にブランドカテゴリーや販売チャネルという区分にとどまりません。MTGグループ内の組織を300超の経営ユニットに分けて、各ユニットの売上・各経費・利益の採算管理をします。高い透明性と専門性を持つべく、財務経理部とは別の専門部署を設けて管理しております。年次計画は、前年度の下期から6か月かけて検討します。さらに、年次業績の精度を高めるため、毎月2回全ユニットの予測値をアップデートし、進捗に応じた事業運営を行っております。特に不採算ユニットについては、別途の検討会を設けて、収益構造の確認や課題の対処に取り組み、早期の採算化を図ります。

このような部門採算管理をベースに、事業ポートフォリオを確認し、投資の有効性や効率を管理しつつ、加えて、将来の新規開発や戦略展開、財務投資なども考慮して、中長期を見据えた経営を行っております。

そして、このような経営者意識を持ったユニットのリーダー（PCリーダー）を育成することが、将来の経営層人材の確保にもつながるとも考えています。

また2025年9月期中に、経営変革に合わせたシステム導入を行いました。数字精度およびスピードの向上に、引き続き努めてまいります。



戦略アクション	目標達成に向けたアクション	指標	17の目標	ESG対応
「一人ひかる」 従業員の素晴らしい人生の実現				
女性活躍、多様性の推進	働きやすい制度の整備と活躍機会の創出、やりがいのある職場環境を整備	女性管理職比率、男性育休取得率 障がい者雇用比率		S
人材育成とキャリア開発の実践	社員の自立的な能力開発を支援	—		S
経営者意識を持つ人材の育成	方針発表会・リーダー層向け勉強会の実施	—		S
健康経営の取り組み	心と体の疾病予防・早期発見・早期治療サポート	定期健診再検査対象者数、ストレスチェック		S
「皆ひかる」 事業活動を通じた社会への貢献				
製品の品質と安全性の確保	品質向上と製品安全の確保に向けた活動を実践	—		S
人権の尊重	RSPOの活動支援、人権配慮資源の使用、責任ある調達	RSPO比率		S
健康で豊かな生活の実現	大学・企業・自治体と協力し、地域社会の健康向上支援	—		S
地域社会の活性化と伝統文化の保護・継承	漆、螺鈿、木、毛 / 寄付活動の実施 / 五島の椿 / 熱田	—		S
「何もかもひかる」 地球環境への配慮と保全				
地球環境の負荷軽減	温室効果ガス（Scope1,2）積極的削減への取り組み	二酸化炭素排出量（Scope1-3）		E
自然保護への取り組み	社農園における椿の植栽による自然保護	椿の植栽本数		E
水資源の維持と保全	ファインバブルによる水資源の保全と排出量の削減	—		E
責任ある調達の推進	パーム油の方針	RSPO比率		E
持続的な成長を支える仕組みの構築				
コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス体制の強化	透明・公正かつ果敢な意思決定を行う仕組みを構築 コンプライアンス推進の風土醸成と体制の整備	—		G
部門採算を採用した経営方式の実践	採算管理をベースに、持続的な企業価値創造を推進	—		G